

第30回全国フォークリフト運転競技大会実施要綱

1. 目的

フォークリフト運転競技を通じ、遵法精神と安全意識の高揚及び運転の知識と技能の向上を図り、もって職場における安全作業の確立と労働災害防止の推進に資することとする。

また、今大会においては、特に女性の積極的参加を求める。

2. 主催

陸上貨物運送事業労働災害防止協会

3. 後援

厚生労働省

4. 協賛

公益社団法人 全日本トラック協会

一般社団法人 日本産業車両協会

5. 競技部門

「一般の部」と「女性の部」の2部門とする。

6. 実施期日

平成27年9月27日（日） 9時00分～17時00分

7. 実施場所

埼玉県トラック総合教育センター

（埼玉県深谷市黒田 2091-1）

8. 参加資格

参加推薦日において、次のいずれにも該当する者とする。

- ① 都道府県支部の会員事業場の従業員で、勤務成績が優秀であり、かつ、フォークリフト運転技能講習修了後1年以上経過していること。
- ② フォークリフト又は自動車の運転により、過去1年間事故を起こしたことがないこと。また、過去3年間（フォークリフト運転技能講習修了又は自動車運転免許取得後の期間が3年に満たない者については、当該3年に満たない期間）人身事故を起こしたことがないこと。

9. 参加推薦

(1) 参加者の推薦に当たっては、次によるものとする。

① 都道府県支部又はブロックで実施する競技大会に参加した者のうちから、都道府県支部において次の人数の者を推薦することができること。

イ 「一般の部」にあつては、2名。ただし、上記の競技大会への参加者数が20名未満である都道府県支部にあつては1名

ロ 「女性の部」にあつては、1名

② 「一般の部」において2名の者を推薦する場合には、これら2名の者は、同一企業に所属する者でないこと。

③ 「一般の部」への参加者は、男女の別を問わないが、過去の全国大会で入賞した者（第1位から第5位までの者）は、推薦することができないこと。ただし、過去の全国大会の「女性の部」で入賞した者（第1位から第5位までの者）については、推薦することができること。

④ 「女性の部」については、過去の全国大会の「女性の部」で入賞した者（第1位から第5位までの者）は、推薦することができないこと。

⑤ 同一人が「一般の部」及び「女性の部」の双方に参加することはできないこと。女性の参加者がいずれの部に参加するかは、本人の希望に基づくものであること。

(2) 都道府県支部長は、平成27年9月11日（金）までに、会長あて参加者の推薦を行うものとする。

(3) なお、過去の全国大会における入賞者は、陸災防本部ホームページからご覧ください。

（<http://www.rikusai.or.jp/public/katsudo/forktaikai/S61-/fork-rekidaisyushosya.htm>）

10. 参加費

参加費は、無料とする。

11. 競技種目及び配点

競技種目は、学科、点検及び運転の3種目とし、配点は、学科300点、点検100点、運転600点、合計1,000点とする。

12. 各競技種目の実施要領

各競技種目は、次により実施する。なお、点検及び運転の競技についての詳細は、各都道府県支部へお問い合わせください。

(1) 学 科

- ① 出題数は 50 問とし、正誤方式とする。
- ② 出題科目並びに科目ごとの問題及び配点は、次表のとおりとする。

科 目	区 分	問 題	配 点
関 係 法 令		10	60
走行に関する装置の構造、取扱いの方法		10	60
荷役に関する装置の構造、取扱いの方法		20	120
運転に必要な力学		10	60
合 計		50	300

- ③ 制限時間は 40 分とする。

(2) 点 検

① 競技要領

荷役運搬作業の安全性を確保するための作業開始前点検を主体として行う。フォークリフトにあらかじめ設定した不具合箇所を競技者に発見させ、その都度、不具合状態を審査員に報告させる方法とし、制限時間を 5 分とする。

② 使用車種

「ユニキャリア」・「コマツ」・「ニチュ三菱」製の最大荷重が 2.5 トンのカウンタバランスフォークリフト(ディーゼル・トルコン車)とする。

なお、個々の選手が使用する点検車両は、当日抽選の上決定する。

(3) 運 転 (走行及び積卸し)

① 競技要領

ア 審査の方法

荷役運搬作業の安全性を主体とし、基準操作技術について減点方式により採点する。

制限時間を 5 分とし、これを経過後は、5 秒以内ごとに 5 点を減点する(5 分を超え 5 分 5 秒までは - 5 点、5 分 5 秒を超え 5 分 10 秒までは - 10 点 - - - というように減点する。)

イ コース走行

運転競技のコースは、下図のとおり、スタート地点①～②へ前進走行して架台上の荷を取おろし(2 段取り)、③～④を後進する。その後、⑤より前進し、停止線 A で一旦停止をした後⑥まで前進し、停止線 C で停止する。次いで、⑦より後退し、停止線 B で一旦停止をした後⑧まで後進し、⑨～⑩を前進する。荷を架台上に積付け、⑪～⑫を後進でスタート地点に戻る。

② 使用車種

「トヨタ」・「住友」製の最大荷重が 2.5 トンのカウンタバランスフォー

クリフト(ディーゼル・トルコン車)とする。なお、個々の選手が使用する車種は、当日抽選の上決定する。

③ 使用積載荷重

1.0 トン

1 3. 順位の決定

- (1) 「一般の部」及び「女性の部」のそれぞれにおいて、学科、点検及び運転の競技種目の合計点を総合得点とし、総合得点に従い順位を決定する。
- (2) 総合得点が同点である者が生ずる場合には、運転競技得点の上位の者を上位者とし、運転競技得点も同点である場合には、点検競技得点の上位の者を上位者とする。さらに、点検競技得点も同点である場合には、運転競技時間の短いものを上位者とする。

1 4. 表 彰

- (1) 「一般の部」及び「女性の部」それぞれにおいて、
 - ① 総合得点第1位の者に、厚生労働大臣賞を贈る。
 - ② 総合得点第1位から第5位までの者に陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長賞を贈る。
- (2) 規模300人未満であり、かつ、親企業100%出資の子会社以外の企業の選手のうち、その他の模範となるような健闘をした選手（一般の部、女性の部それぞれ1名）に対して、その健闘をたたえて健闘賞を授与する。（入賞者は除く。）
- (3) 出場者全員に、全国大会出場の記念品を贈る。

